

⑱每自作是念の文礼拝住処の事

[礼拝住処 ③]

每自作是念の文

每自作是念の文…如来寿量品に説かれる、衆生に対する仏の願い

||

いつも（毎時）礼拝しながら24字の法華経を唱えた不輕菩薩は、この仏とまったく同じ立場（住処）だったと言える。